

# 補正予算

全員賛成で可決

# 安全対策に早期着手

補正額  
1億9528万円

本補正予算では、国の補正予算に伴う「地域の元気臨時交付金(※)」の対象として、8事業が選定されました。

この選定により、当初予定していた事業における財政負担が軽減され、前倒しでの事業展開が図られることとなります。主な質疑は次のとおりです。

※地域の元気臨時交付金  
国の経済対策の一環として、地方公共団体単独の公共事業に対し、8割程度を交付金として還元する仕組みです。



上野台小学校前交差点

## より安全・安心な保育所へ

補正額 6158万円

滝保育所は昨年耐震診断を実施し、その結果を受けて耐震設計が行われました。そして、平成25年度に耐震工事を実施する予定でしたが、今回の補正での早期実施が提案されました。また、工事期間中の保育について質疑がありました。

### ●主な質疑

問 工事期間中の保育は、どのようになるのか。

答 当初は保育所にいながらの保育も考えていたが、工事中の音やにおいのことも考え、上野台保育所で期間限定での保育を予定している。

### ●主な質疑

問 その期間はどれくらいになり、保育所独自の行事などはどうなるのか。

答 保育所の行事が少ない7月から9月の3ヵ月を予定している。



滝保育所



大井西中学校

## 災害に備えて水の確保を

補正額 566万円

「防災に強いまち」に向け、大井西中学校に防災井戸を設置する提案がありました。今後の小中学校での大規模改造とあわせて、防災井戸を設置していく計画が示され、今後の設置方針や運営方法についての質疑がありました。

### ●主な質疑

問 防災井戸が設置されていない小中学校への設置方針は。

答 大規模改造工事をする学校を優先して設置をしていく。

問 防災井戸が設置されていない避難所への設置方針は。

答 全避難所への設置を検討したい。

問 ポンプを動かす取っ手部分の取りつけがしづらい井戸もあるが、改善は。

答 定期的な点検をし、必要に応じて使えるよう維持していく。

## 学校周辺の歩道整備

補正額 1億2795万円

福岡中学校前の市道第619号線と市役所第2庁舎と上野台小学校を結ぶ市道第700号線の歩道整備事業が提案されました。2つの事業とも学校の敷地に絡む歩道の幅幅となることから、フェンスの移設や樹木の伐採、それに伴う補償などについての質疑がありました。

### ●主な質疑

問 バリアフリーや点字ブロックなどの計画は。

答 有効幅員が2メートルの歩道を予定しており、点字ブロック等、必要なものは整備する。

問 歩道を整備するに当たり、学校のフェンスや樹木はどうなるのか。

答 フェンスについては移設する形になる。樹木については、移設や伐採など様々な議論があったが、移設先や費用の確保が難しいことから、現実的にはやむを得ず伐採する予定である。

### ●主な意見

賛成 選定時間の制約のある中、地域の元気臨時交付金事業で、速やかに事業計画が立てられたことを評価する。本市の元気を倍増する活用を期待する。

賛成 本補正予算での対応は、的確な事業選択と予算配分がなされていると評価するものであり、また、積極的な安全対策、防災対策は魅力あるまちづくりにつながると考える。引き続き市民ニーズに対し、スピード感を持った対応と、財源確保などの効率的な行財政運営を望む。

## 賛成

公明党

将来に備えた施策の断行を

堀口修一議員

合併特例債の活用期限が迫る中、将来に備え各施設整備を急がなくてはならない。庁舎の耐震化再整備・上福岡駅東口の整備・こみ処理施設や上福岡学校給食センターの建設など、これまでの懸案に対して積極的に取り組まれてい

る予算であることを評価する。また、いじめ・不登校対策など、未来を担う子どもたちへのさらなる政策展開を望む。その他、災害に強いまちづくりへの取り組みや交通安全事業の推進など、市民の命を守ることを最優先した予算である。

## 賛成

信政会

大型事業への的確な予算措置を評価

有山 茂議員

市政運営の骨格をなす市税全体では、約3億4千万円の増収となった。また、本庁舎の整備や広域こみ処理施設の建設、小中学校の大規模改造工事及びエアコンの設置、そして、上福岡学校給食センター

の整備といった大型事業に対する合併特例債を活用した予算措置を評価する。今後多額の借入れが予定されるが、返済資金や市債残高に留意した計画的な借入れを望む。

## 賛成

誠風会

経常経費の抑制と懸案事項への対応を評価

福村光泰議員

人件費など経常経費の抑制や小中学校の大規模改造工事、エアコン設置等の施設整備事業に対する特定目的基金や合併特例債の計画的活用は、評価できる。しかし、後年度の

借入金残高や公債費の負担などには十分留意すべきである。なお、今後も自主防災組織への支援など、「災害に強いまちづくり」には継続して力を注いでいただきたい。

# 平成25年度 一般会計予算討論

賛成多数で可決



平成25年度ふじみ野市新規採用職員研修

## 反対

日本共産党

有利な条件や千名を超える職員力を引き出せていない

新井光男議員

東武東上線の横浜直通相互乗り入れが3月16日に導入されるなど交通便利性の向上、区画整理や都市再開発など、進んだ地域特性を生かしきれない。各種基金約66億円、

水道企業会計など合計で約90億円の留保資金を寝かせておいたのでは、効率的な財政運営ができない。正規と非正規など千名を超える職員力を引き出す取り組みが不十分だ。

## 賛成

かがやき21

子育て世代に選ばれるまちづくり

民部佳代議員

本庁舎の耐震・増築、広域こみ処理施設建設、上福岡学校給食センターの建て替えなど、課題となる公共施設の整備に、新市建設計画の変更も、財源を確保したことを評価する。

西児童センターの開設、小中学校の大規模改造や普通教室のエアコン設計予算など、児童生徒への予算も重点的に配分された。子育て世代に選ばれる市を目指してほしい。

## 賛成

無所属

経常経費の縮減と次世代への施策を評価

小林憲人議員

歳出において、人件費の抑制や公債費が縮減されたことは評価できる。各施策では、「次世代を担う子どもたちへの支援」が存分に盛り込まれ、長年の懸案だった「上福岡駅東

口駅前広場の整備」も盛り込まれている。今後は、PR活動を積極的に行い、地理的要素だけではなく各施策で選ばれるまち「ふじみ野」の実現を期待し、賛成とする。